



諸橋近代美術館は現在、冬期休館中です。その間、
当館の所蔵作家でスペインが生んだ20世紀の
巨匠サルバドル・ダリ（1904-1989）の作品に
登場する‘食べもの’を紹介します。ダリが食べもの
に固執した理由や秘密を探ります。



作品写真「回顧的女性胸像」1977年 諸橋近代美術館所蔵
© Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, VEGAP & SPDA Tokyo, 2013

第3回

「ピカソの犬に食べられたパン」

ブロンズの上に塗装されたこの彫刻作品は、もともとは
マネキン人形に本物のパンやトウモロコシを付けた
オブジェでした。パンの上にはミレーの「晩鐘」をかた
どったインク壺があります。ダリは、白いパンに漆黒のインク
がじわっと染みわたる様子がたまらなかつたそうです。
額にはダリが死のトラウマと称したアリが無数に描かれ
ています。トウモロコシと首輪のアニメーションの絵柄は、
ダリが衝撃を受けたアメリカ合衆国の文化です。大量生
産・大量消費される農作物、多様化するメディアは人間の
理性を超越する近代化の象徴です。ちなみに、この初期の
作品はニューヨークの画廊で公開されましたが、ピカソの
飼い犬が頭の上のパンを食べてしまったというエピソード
が残っています。

公益財団法人
諸橋近代美術館
morohashi museum of modern art
福島県耶麻郡北塩原村松原字剣ヶ峰1093番 TEL 0241-37-1088 URL <http://dali.jp>